

BIO ORGANIC RIVER

バイオ・オーガニック・リバー工法

NETIS登録
TH-990041-A

水辺の植生復元技術

近年、「豊かな自然環境」が社会的な共有財産として認識される様になり、様々な分野で緑の保全や生物の生息空間の創出が行われています。

河川事業においても例外ではなく、河川の自然生態系の保全や河川空間の多様な利用への要請が高まり、より自然な多自然川づくりが求められています。

日本特殊緑化協会では、客土注入マット工：バイオ・オーガニック工法の耐浸食防止効果が水辺の植生復元に有効であると考え、現在までに全国数十箇所の水辺で実績を積み、その経験と実験データの集積により工法の改良を進め、耐水性客土注入マット工：バイオ・オーガニック・リバー工法を開発しました。当工法の特徴は、耐水性袋状マットに注入した水生基盤材を現地形に合わせて造成する事ができ、水辺の動植物の生活圏を創造するビオトープに適しています。

ダム湖湛水面の施工では、周辺環境へ配慮した自然侵入による植生復元（無種子施工）を積極的に導入し、在来植物による自然再生を図っています。

河川護岸やダム湖湛水面を緑に再生します



波浪試験(国立北見工業大学工学部土木開発工学科)



☆使用資材☆

